

協議員から出された意見

第41回協議会

地域毎の話し合い	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・外環整備に伴う地域の課題について、地域への影響、国道20号線へのインターチェンジの設置、外環整備に伴う必要な周辺道路の整備について話し合いが行われた。（中倉協議員（事務局代読）） ・調布市の懇談会は10月30日の10時から12時に内定した。（渡辺協議員）

議論の整理（とりまとめ）	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめに」の28～30行に、とりまとめ以降も審議を継続する必要があるということを追加すべき。（江崎協議員） ・「はじめに」は全体の文章のイントロダクションであり、このままの表現で良い。（樋上協議員） ・今後の議論の場に関する文章の手直しが必要であれば、全体的をみながら手直しすべき。（渡辺協議員） ・今後の議論の場については、協議員がどういう形がいいのかをしっかりと話し合った上で、決めていくべき事項である。（山本協議員） ・今後、国や都が外環の影響にどのように対応していくのかについて、明確に道筋を示すとともに、地域住民が納得できるようなPI上の位置づけを示すことが重要である。（栗林協議員） ・外環という言葉だけではなく、大深度の外環と記述した方が良い。（樋上協議員） ・大深度でやるということはだれも決めていないので、PI協議会としては外環でいい。（濱本協議員） ・今の段階であえて大深度だとうたう必要性はどこにもない。（渡辺協議員） ・大深度も念頭に置きながら議論が進んだことがわかるようにしておかないと、とりまとめだけをみた人間は具体的なイメージがつかめないのではないか。（藤川協議員） ・たたき台の説明では、大深度ではない地下構造という話であった。地下の話だから大深度でなければおかしいということではない。（渡辺協議員） ・世田谷の場合は大深度でも、半分ぐらいは開削になっており、大深度を強く言うがために、影響がないというふうにイメージがずれていくことに危惧を感じる。（栗林協議員） ・国と都は、当初は中深度で検討したが、最終的には大深度でどうかという形で協議会に提示したということを書いておけば問題ない。（新協議員） ・外環を大深度でやった場合ということを、あえて書く必要はない。（武田協議員） ・9ページ19行目を「都心通過交通であると説明された」と修正して欲しい。（江崎協議員） ・10ページの12から13行目で、試算は三環状道路が開通した場合なので、「三環状道路が開通した場合」と修正していただきたい。（江崎協議員） ・シミュレーションの条件にあわせて、「三環状道路が開通した場合」という表現に変えた方が正確である。（山本協議員） ・高速道路網のシミュレーション結果も、前の協議会で提示したので、「外環周辺の交通の変化に関する試算結果が示された」と修正すべき。（山本協議員） ・9ページの19行目は「東京都内の大気環境悪化の原因の1つに大型車両等の通過交通が挙げられている」とあるいは「指摘されている」と修正すべき。（武田協議員） ・11ページの20行目は、前回の協議会の時点では「施策」ではなく「代替案」となっていたが、どういう経緯で表現が変わったのか。（江崎協議員） ・道路計画合意形成研究会の提言には、道路整備をしない案も含めた代替案との比較による検証が必要であるとされており、私も資料を出しているのので、この一文をどこかに入れてほしい。（江崎協議員） ・11ページの20行目の文章は、外環が必要ならば、いろんな施策をもう一度見直して、どうしても外環が必要だということになればという意味である。（濱本協議員） ・11ページの20行目に、パーク・アンド・ライドはぜひ入れておいてもらいたい。（新協議員） ・地下鉄、LRT、モーダルシフトといった概念が書いてあるので、並列の課題としてつけ加えるのがよい。（見協議員） ・整備しない案という代替案を検討したらどうかといったときに、大寺協議員が回答しているので、どう回答をされたかということをも1回読み返してほしい。（栗林協議員） ・整備をしない場合に関しては、TDMの中にも書くのではなく、PIや進め方の課題の場所がよい。表現や書く場所を含めて懇談会で議論させて欲しい。（山本協議員） ・PI協議会でまとめをやるのであれば、方針についてもきちんとして住民は何を考えているかということも明確にしておくべき。（濱本協議員） ・個人的にはあまり方針を評価して物を言いたくない。これを議論して指摘をするならば、相当ウエート

- をかけて言わなければ問題である。 (武田協議員)
- ・ 3月方針にある地上部街路について、P I協議会として全部基本的に無視するというのなら無視するでも良いが、もししないのであれば、我々の意見として記録すべきではないか。 (濱本協議員)
 - ・ 次回協議会でとりまとめを踏まえて各協議員の意見を述べる場があるので、それを記録にとどめるのがふさわしい。 (道家協議員)
 - ・ 市でもこの発表については首長会議等で指摘をしたという経過もあり、方針の記述はこれでよい。 (大川協議員)
 - ・ 1月と3月の方針の矛盾について国と都はどう思っているのか。 (武田協議員)
 - ・ 1月から3月の間に沿線自治体との意見交換等もあり、具体的に地元からの要望があったことについても検討を加えていく必要があるということ述べたという流れである。 (道家協議員)
 - ・ 国も都の話と同様である。 (川瀧協議員)
 - ・ 1月方針と3月方針は明らかに矛盾するものだということを指摘するのであれば入れたらいいと思う。ただし、我々は本体の論議をしているのであって、地上部街路については一切ペンディングになっているということを追加すべき。 (武田協議員)
 - ・ 我々住民としても方針についてはきちんと話をしておかなければならない。 (濱本協議員)
 - ・ 17ページ24行目に、「外環が南伸することにより、南へ行くための車がさらに集まってくるおそれがあるのではないか。」という文章を追加して欲しい。 (江崎協議員)
 - ・ 18ページ2行目に「以下の認識を得た」として、それを受けて「一方で、練馬の問題を抜本的に解決するのに、外環の有効性は高いと考えられる」と記述しているが、これを裏づけるデータがない上、意見が一致しているわけでもないので、認識を得たということではない。 (江崎協議員)
 - ・ 17ページの24行目の次に、南伸するなという意見があったと聞こえるが、そういう意見をだれかが言って、練馬の方がしっかりそれを聞いているのかを確認したい。 (栗林協議員)
 - ・ 私が、外環が南に延びることによって、外環を使って南へ行こうとする車が集まってくるかもしれないし、必ずしもそれによって解決するとはいえないかもしれないということを発言した。 (江崎協議員)
 - ・ 「練馬の問題を抜本的に解決するのに、外環の有効性は高い」とあるが、南伸そのものは否定するわけではないが、周辺道路の整備もあるので、抜本的云々というのはおかしい気がする。共通認識としては変ではないか。 (新協議員)
 - ・ 18ページの6行の文章は、17ページの24行と25行の間に入れれば良い。 (武田協議員)
 - ・ 「P I外環沿線協議会議論の整理(とりまとめ)」というところの頭にどういうフレーズを入れるかは、次回の懇談会までの宿題にしておいたらどうか。 (武田協議員)
 - ・ このいわゆるとりまとめは、とりまとめになっていないわけであり、タイトルの表現は少し変えた方がいい。 (新協議員)